

平成29年5月17日

防災危機管理局	防災企画課	担当	黒岩、酒谷（内2483）
防災危機管理局	消防防災指導課	担当	永利、田中（内2494）
県土整備部	河川課	担当	吉武、佐藤（内4527）
県土整備部	砂防課	担当	中村、財津（内4563）

出水期に備えた防災対策の充実・強化について

梅雨の時期が近づいてきました。福岡県では、出水期を前にハード・ソフト両面にわたる防災対策を充実・強化し、「安全・安心で災害に強い福岡県」づくりを進めています（別添資料1）。主な取組みは、次のとおりです。

1 平成24年7月豪雨災害の復旧状況及び危険箇所等の点検

- 県が管理している公共土木施設の復旧工事のうち、原形復旧工事は平成26年度までに完成。河川拡幅などの改良復旧工事については、河川内工事は今月末、橋梁の架け替えなどの河川外工事も今年度内にそれぞれ完成予定です。
- また、県内全域の公共土木施設及び危険箇所等の点検を行っており、必要に応じて随時対策を講じております。

2 土砂災害危険度情報配信の強化（別添資料2）

- 土砂災害危険度情報を確実に県民の皆さんに伝達するため、5月1日から、土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設管理者へメール・FAXによるPUSH型配信を実施しています。そして、5月下旬からは、一般県民に向けたテレビのデータ放送による配信を、まずはFBS（福岡放送）・TNC（テレビ西日本）の2局で開始します。

3 県民に対する防災意識の高揚

- 県民の皆さんには、お住まいの地域の危険箇所や避難所・避難経路の確認のほか、水・食糧の備蓄など、自らも災害に備えていただくようお願いします。
これらの情報は、県ホームページや「福岡県だより」などで、分かりやすくまとめて掲載するとともに、5月26日から県庁1階ロビーにて開催する防災展示でも周知してまいります。

4 市町村に対する助言等

- 市町村には、防災・危機管理に係る必要な取組み（職員参集体制の構築や住民への情報伝達手段の多重化など）を確認・実施するとともに、今年3月に策定した「福岡県指定避難所運営マニュアル作成指針」を参考に、地域の実情に沿った市町村マニュアルを作成するよう要請しております。
また、5月23日に副市町村長会議を開催し、空振りをおそれない早めの避難勧告等の発令や応援要請など、市町村長の迅速な意思決定の徹底について改めて助言します。

5 防災訓練の実施

○ 関係機関の連携強化、防災技術の向上及び県民の防災意識の高揚を図るため、「福岡県総合防災訓練」を実施します。

- ・ 日 時：5月28日（日）10時00分～12時20分
- ・ 主会場：吉富漁港（吉富町大字小祝）
- ・ 主 催：福岡県、吉富町、豊前市、上毛町、築上町、みやこ町
- ・ 大規模災害に備えた新たな訓練種目：車中泊避難者の把握・健康管理支援訓練、県消防学校からのヘリによる救援物資輸送訓練、孤立集落に対する燃料空輸訓練 など